

## 「豪雨災害に関する意識」についてのアンケート集計結果

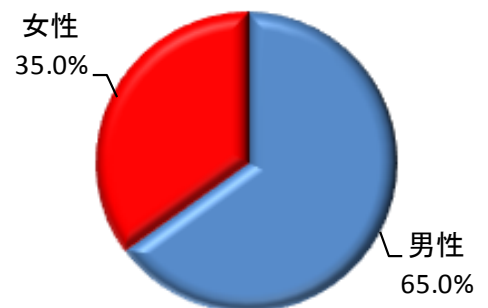
- ★調査時期：平成26年2月
- ★対象者：県政モニター 399人
- ★回答数：309人（回収率77.4%）
- ★担当課：土木交通部 流域政策局 流域治水政策室
- ★調査目的：県では、どのような洪水にあっても、“人命が失われること”や“生活再建が困難となる被害”を避けることを目的に、これまでの「川の中の対策（河川整備やダム建設など）」に加えて、「川の外対策」を県民の皆さんと協働で実施していく「流域治水政策」を推進しているところです。

県民のみなさんの豪雨災害に関する意識等について把握し、今後の施策検討の参考とする目的でアンケート調査を実施しました。

### ◆あなたの性別を教えてください。

(参考)

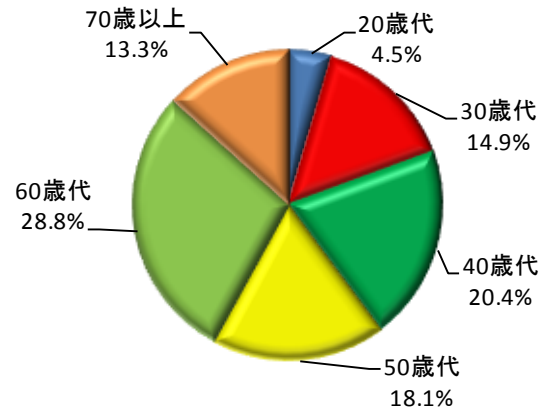
項目	今回 (H26.2)		前回 (H24.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
男性	201	65.0	167	58.8
女性	108	35.0	117	41.2
合計	309	100.0	284	100.0



### ◆あなたの年齢を教えてください。

(参考)

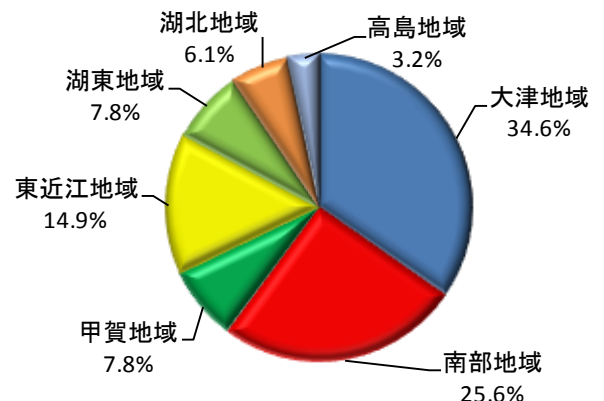
項目	今回 (H26.2)		前回 (H24.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
～20歳代	14	4.5	20	7.1
30歳代	46	14.9	54	19.0
40歳代	63	20.4	56	19.7
50歳代	56	18.1	44	15.5
60歳代	89	28.8	77	27.1
70歳以上	41	13.3	33	11.6
合計	309	100.0	284	100.0



### ◆あなたのお住まいの地域を教えてください。

(参考)

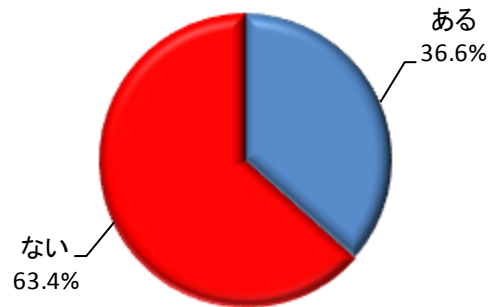
項目	今回 (H26.2)		前回 (H24.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
大津地域	107	34.6	99	34.9
南部地域	79	25.6	79	27.8
甲賀地域	24	7.8	23	8.1
東近江地域	46	14.9	45	15.8
湖東地域	24	7.8	13	4.6
湖北地域	19	6.1	17	6.0
高島地域	10	3.2	8	2.8
合計	309	100.0	284	100.0



問1 近年、全国各地で水害や土砂災害が発生していますが、あなたは、過去に豪雨（台風を含む）によって被害を受けたり、危険を感じたりしたことはありますか。

(参考)

項目	今回 (H26.2)		前回 (H24.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	113	36.6	94	33.1
ない	196	63.4	190	66.9
合計	309	100.0	284	100.0



※考察 「ある」の割合が3.5%増加している。

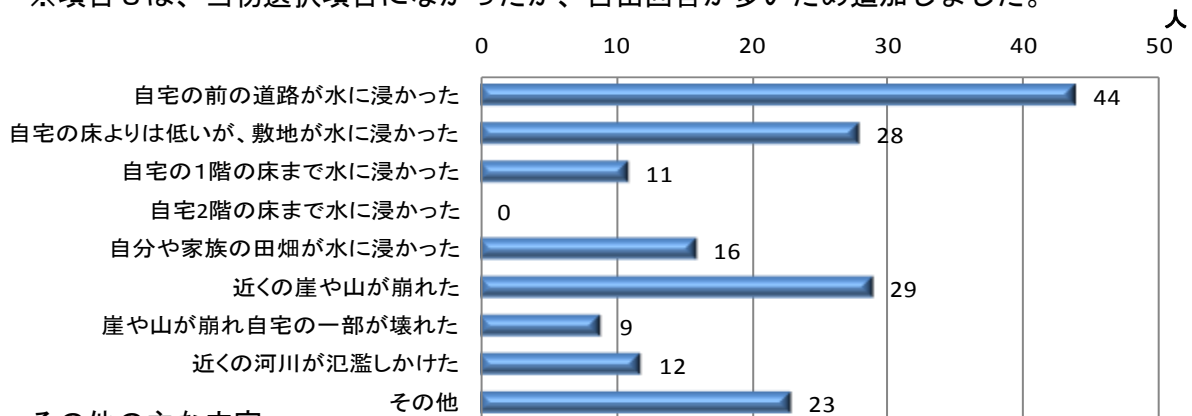
問2 問1で「ある」と選択された方にお聞きします。

その時の状況はどのようなものでしたか。(回答チェックはいくつでも可。n=113)

(参考)

項目	今回 (H26.2)		前回 (H24.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 自宅の前の道路が水に浸かった	44	38.9	44	46.8
2. 自宅の床よりは低い敷地が水に浸かった	28	24.8	34	36.2
3. 自宅の1階の床まで水に浸かった	11	9.7	11	11.7
4. 自宅2階の床まで水に浸かった	0	0.0	0	0.0
5. 自分や家族の田畑が水に浸かった	16	14.2	15	16.0
6. 近くの崖や山が崩れた	29	25.7	16	17.0
7. 崖や山が崩れ自宅の一部が壊れた	9	8.0	3	3.2
8. 近くの河川が氾濫しかけた	12	10.6	—	—
9. その他	23	20.4	26	27.7

※項目8は、当初選択項目になかったが、自由回答が多いため追加しました。



その他の主な内容

- ・近所が浸水した。(回答数3)
- ・避難勧告、避難指示が出た。(回答数2)
- ・近くの国道や県・市道が通行不能になった。(回答数5)
- ・よく利用する橋が落ちた。(回答数1)
- ・以前の住まいで床下浸水の経験がある。(回答数1)
- ・職場も床下浸水の被害にあった。(回答数1)
- ・下水道が逆流し敷地内マンホールから汚水が噴出した。(回答数1)
- ・琵琶湖水位の異常な上昇。(回答数1)
- ・地震により液状化と地盤沈下が発生した。(回答数1)

問3 今住んでいる地域で起きた過去の自然災害（被害）の話を、人から聞いたことがありますか。

(参考)

項目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	129	41.7	117	41.2
ない	180	58.3	167	58.8
合計	309	100.0	284	100.0

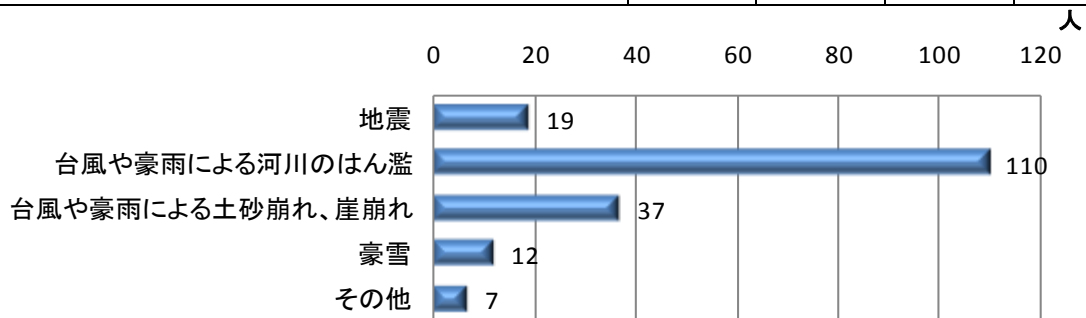


問4 問3で「ある」と選択された方にお聞きします。

それはどのような自然災害でしたか。(回答チェックはいくつでも可。n=129)

(参考)

項目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 地震	19	14.7	15	12.8
2. 台風や豪雨による河川のはん濫	110	85.3	101	86.3
3. 台風や豪雨による土砂崩れ、崖崩れ	37	28.7	24	20.5
4. 豪雪	12	9.3	9	7.7
5. その他	7	5.4	5	4.3

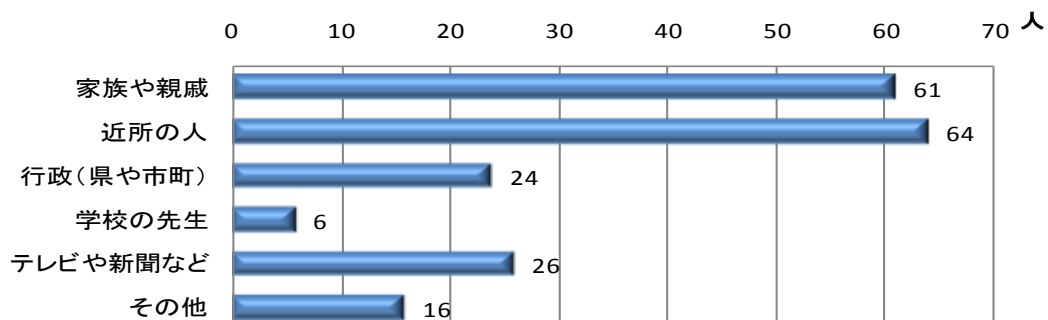


問5 問3で「ある」と選択された方にお聞きします。

その話は誰から聞きましたか。(回答チェックはいくつでも可。n=129)

(参考)

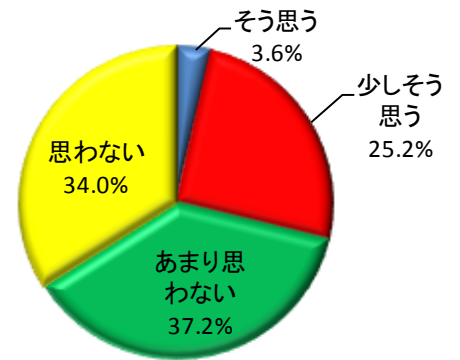
項目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 家族や親戚	61	47.3	49	41.9
2. 近所の人	64	49.6	58	49.6
3. 行政（県や市町）	24	18.6	20	17.1
4. 学校の先生	6	4.7	3	2.6
5. テレビや新聞など	26	20.2	11	9.4
6. その他	16	12.4	18	15.4



問6 今住んでいる家が、今後10年以内に洪水による被害を受けると思われますか。

(参考)

項目	今回 (H26.2)		前回 (H24.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. そう思う	11	3.6	10	3.5
2. 少しそう思う	78	25.2	42	14.8
3. あまり思わない	115	37.2	111	39.1
4. 思わない	105	34.0	121	42.6
合計	309	100.0	284	100.0

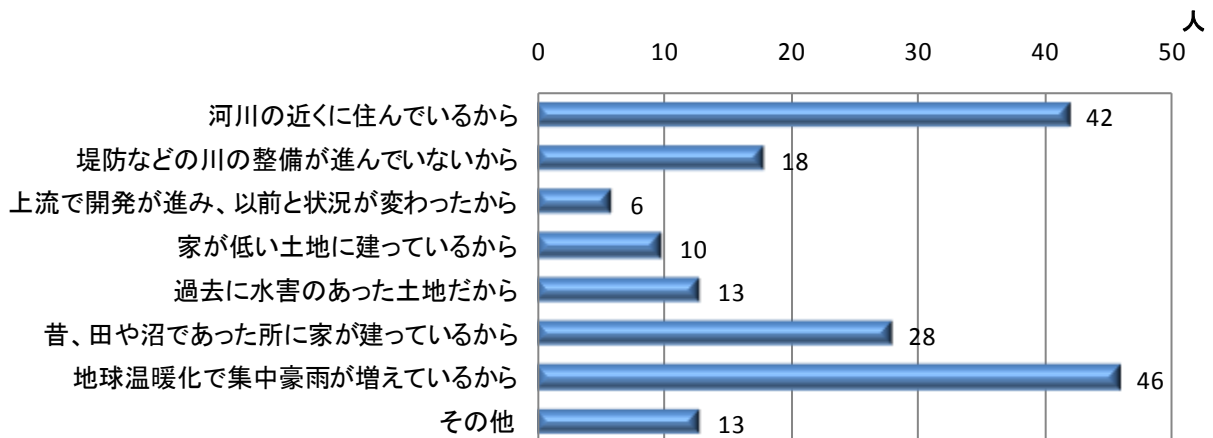


※考察 「そう思う」「少しそう思う」の割合が  
前回(18.3%)→今回(28.8%)と増加している。

問7 問6で「そう思う」または「少しそう思う」を選択された方にお聞きします。  
そのように思う理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。n=89)

(参考)

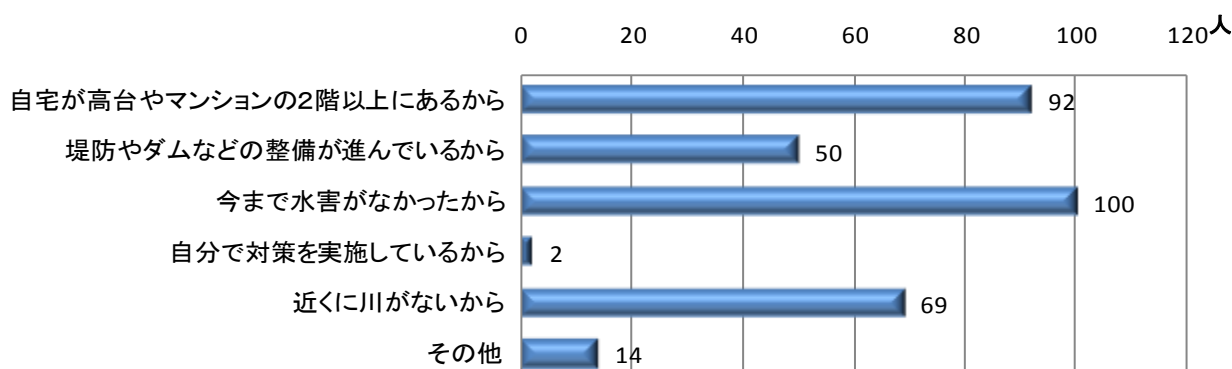
項目	今回 (H26.2)		前回 (H24.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 河川の近くに住んでいるから	42	47.2	28	53.8
2. 堤防などの川の整備が進んでいないから	18	20.2	7	13.5
3. 上流で開発が進み、以前と状況が変わったから	6	6.7	5	9.6
4. 家が低い土地に建っているから	10	11.2	7	13.5
5. 過去に水害があった土地だから	13	14.6	7	13.5
6. 昔、田や沼であった所に家が建っているから	28	31.5	12	23.1
7. 地球温暖化で集中豪雨が増えているから	46	51.7	23	44.2
8. その他	13	14.6	9	17.3



問8 問6で「あまり思わない」または「思わない」を選択された方にお聞きします。そのように思う理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。n=220)

(参考)

項目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 自宅が高台やマンションの2階以上にあるから	92	41.8	92	39.7
2. 堤防やダムなどの整備が進んでいるから	50	22.7	55	23.7
3. 今まで水害がなかったから	100	45.5	101	43.5
4. 自分で対策を実施しているから	2	0.9	2	0.9
5. 近くに川がないから	69	31.4	84	36.2
6. その他	14	6.4	18	7.8

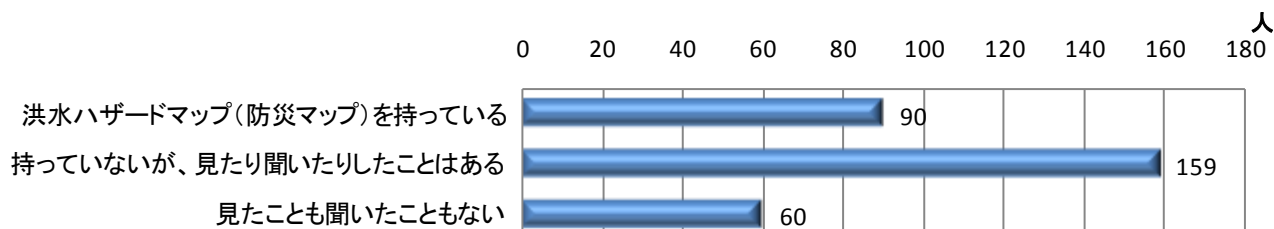


問9 浸水が予想される区域を示すものとして「洪水ハザードマップ（防災マップ）」がありますが、これを見たり、聞いたりしたことはありますか。

(参考)

項目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 洪水ハザードマップ（防災マップ）を持っている	90	29.1	68	23.9
2. 持っていないが、見たり聞いたりしたことはある	159	51.5	123	43.3
3. 見たことも聞いたこともない	60	19.4	93	32.8
合計	309	100.0	284	100.0

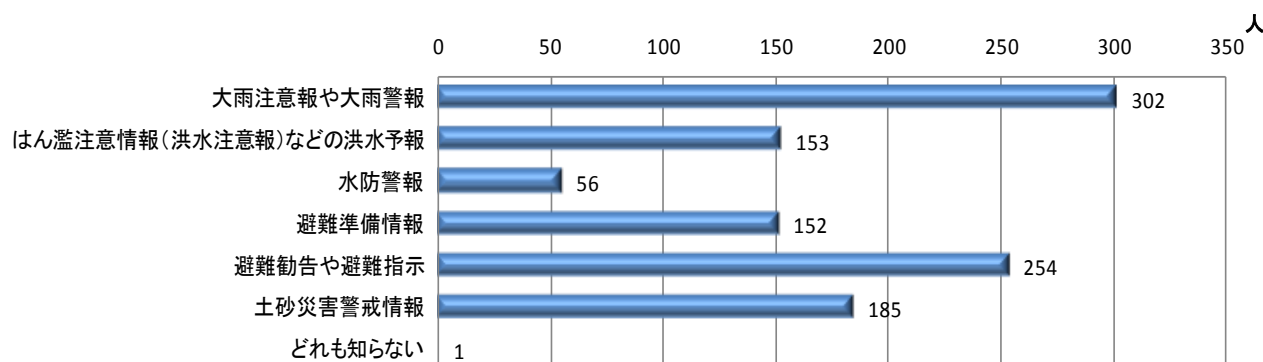
※考察 「洪水ハザードマップを持っている、見たりきいたりした」の割合が、前回(67.2%)→今回(80.6%)と増加している。



問 10 水害や土砂災害が発生する危険性が高くなった時に出る次の情報のうち、知っているものはどれですか。(回答チェックはいくつでも可。n=309)

(参考)

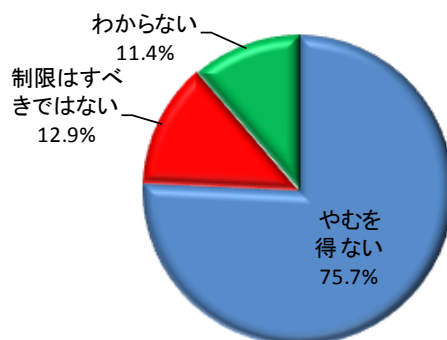
項 目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 大雨注意報や大雨警報	302	97.7	273	96.1
2. はん濫注意情報(洪水注意報)などの洪水予報	153	49.5	128	45.1
3. 水防警報	56	18.1	43	15.1
4. 避難準備情報	152	49.2	93	32.7
5. 避難勧告や避難指示	254	82.2	205	72.2
6. 土砂災害警戒情報	185	59.9	163	57.4
7. どれも知らない	1	0.3	3	1.1



問 11 水害による被害を出来るだけ少なくする方法として、低地に建物を建設しないよう制限することが考えられますが、このような土地の利用制限について、どう思いますか。

(参考)

項 目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 被害を少なくするための制限なら、やむを得ない	234	75.7	238	83.8
2. 制限はすべきではない	40	12.9	22	7.7
3. わからない	35	11.4	24	8.5
合 計	309	100.0	284	100.0



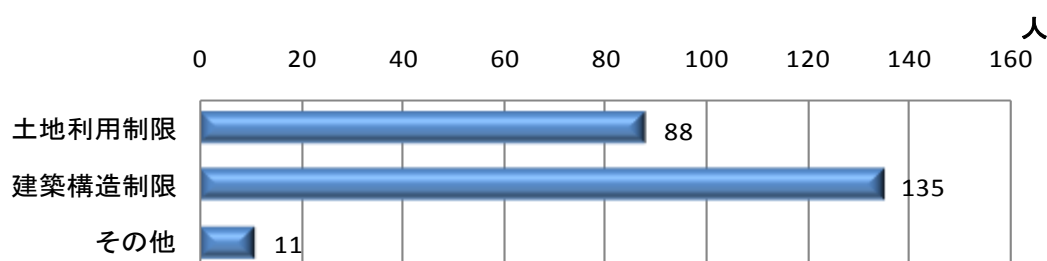
問 12 問 11 で「被害を少なくするための制限なら、やむを得ない」を選択された方にお聞きします。

土地の利用制限の方法は、どうしたらよいと思いますか。

この中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。

(参考)

項 目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 水害の危険性に応じて土地利用を制限し、浸水の危険性が高い場所には住めないような制度を作る	88	37.6	99	41.6
2. 水害の危険性に応じて建築物の基礎地盤の嵩上げや構造の工夫をすることにより、万一浸水したとしても被害が少なくなるような制度を作る	135	57.7	131	55.0
3. その他	11	4.7	8	3.4
合 計	234	100.0	238	100.0



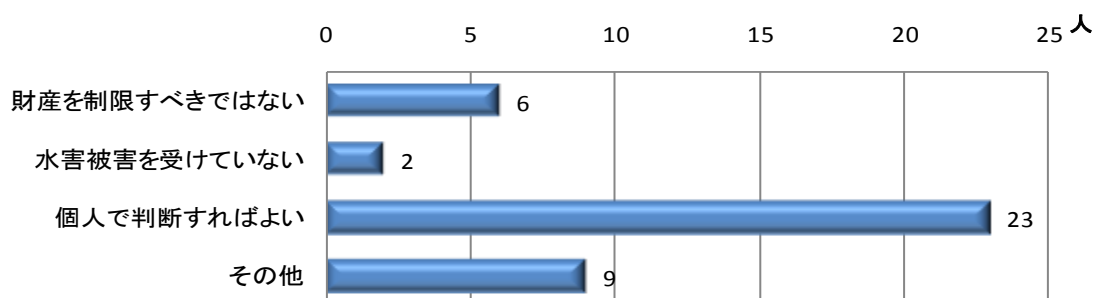
問 13 問 11 で「制限はすべきではない」を選択された方にお聞きします。

制限すべきではないと思う理由は何ですか。

この中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。

(参考)

項 目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 個人の財産を制限すべきではないから	6	15.0	6	27.3
2. 近年水害被害を受けていないから	2	5.0	1	4.5
3. 水害の危険性を公表し、住むかどうかは個人で判断すればよいから	23	57.5	12	54.6
4. その他	9	22.5	3	13.6
合 計	40	100.0	40	100.0

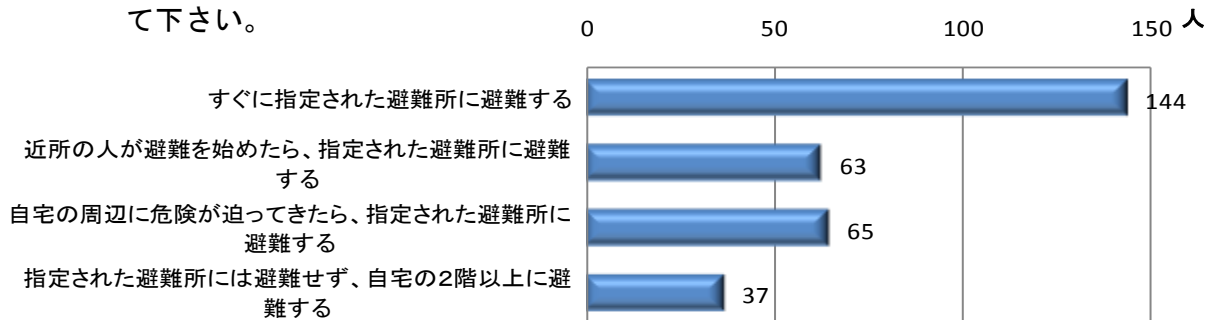


問 14 水害や土砂災害の危険が高くなり、市町から避難勧告が出された場合、あなたはどのような行動をとると思いますか。  
この中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。

(参考)

項 目	今回 (H26.2)		前回 (H24.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. すぐに指定された避難所に避難する	144	46.6	171	60.2
2. 近所の人が始めたなら、指定された避難所に避難する	63	20.4	61	21.5
3. 自宅の周辺に危険が迫ってきたら、指定された避難所に避難する	65	21.0	40	14.1
4. 指定された避難所には避難せず、自宅の2階以上に避難する	37	12.0	12	4.2
合 計	309	100.0	284	100.0

※考察 今回1の避難所に避難するが減少し、3と4の自宅の2階以上に避難するが増加しました。理由はいろいろとあるようですが、情報をしっかりと集め判断して下さい。



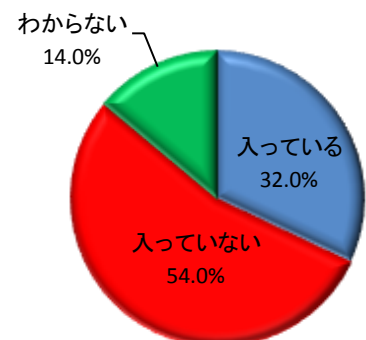
指定された避難所には避難せず、自宅の2階以上に避難する理由

- ・避難場所自体の安全性に疑問があるから。(建物の構造、平屋建のため水害に弱い、収容人数)
- ・避難所が遠く、荒天時の移動が危険だと思われるため。
- ・高齢者がいるため、悪条件時に移動するより自宅の2階に待機するほうがより安全と考えるため。
- ・避難場所への移動と自宅2階への避難を比較して考えるため。
- ・高層階のマンションに住んでいるため、避難所まで行くより自宅が安全だから。
- ・今まで危険性が無かったので、避難の必要性が考えられないため。
- ・避難所での人間関係が煩わしい。

問 15 あなたは、水害や土砂災害に備えた保険（住宅総合保険等）に入っていますか。

(参考)

項 目	今回 (H26.2)		前回 (H24.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 入っている	99	32.0	66	23.2
2. 入っていない	167	54.0	176	62.0
3. わからない	43	14.0	42	14.8
合 計	309	100.0	284	100.0



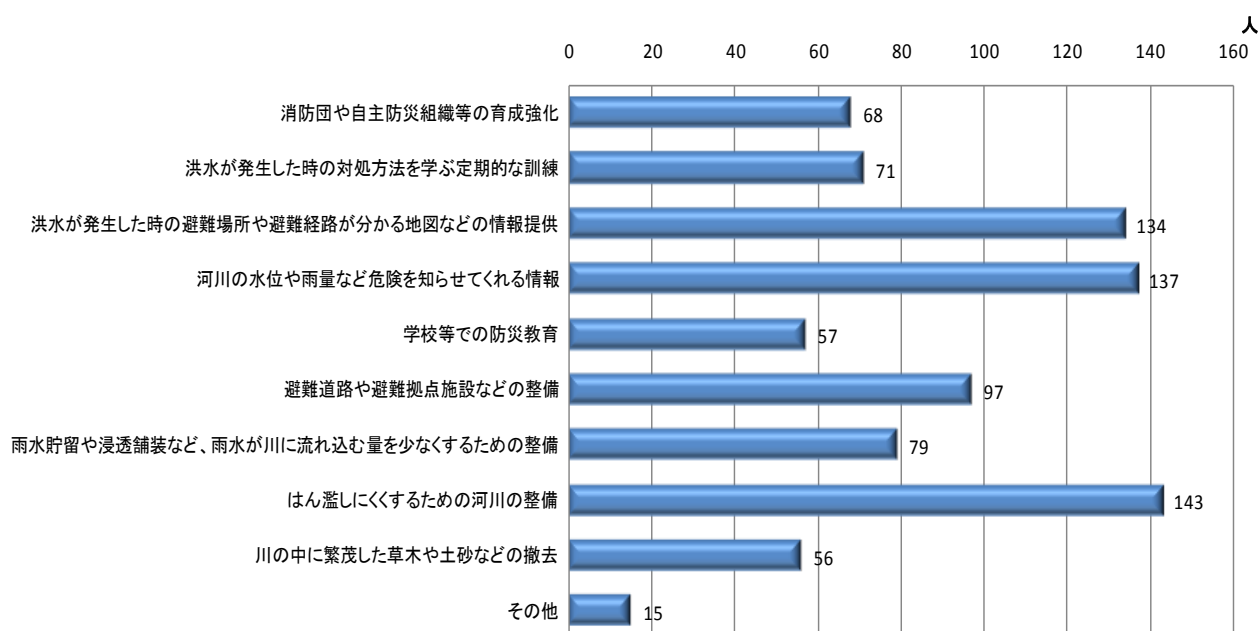


問 16 洪水から命や財産を守るため、県や市町の行政に対してどのような取り組みを望みますか。

重視して進めるべきと思うものを3つ選んでください。

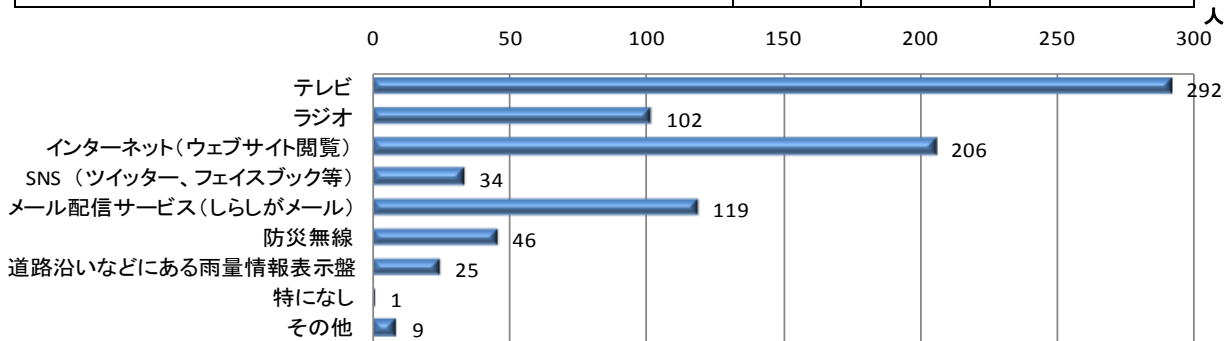
(参考)

項 目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 消防団や自主防災組織等の育成強化	68	22.0	67	23.6
2. 洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練	71	23.0	89	31.3
3. 洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供	134	43.4	129	45.4
4. 河川の水位や雨量など危険を知らせてくれる情報	137	44.3	116	40.8
5. 学校等での防災教育	57	18.4	63	22.2
6. 避難道路や避難拠点施設などの整備	97	31.4	77	27.1
7. 雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備	79	25.6	79	27.8
8. はん濫しにくくするための河川の整備	143	46.3	116	40.8
9. 川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去	56	18.1	53	18.7
10. その他	15	4.9	3	1.1



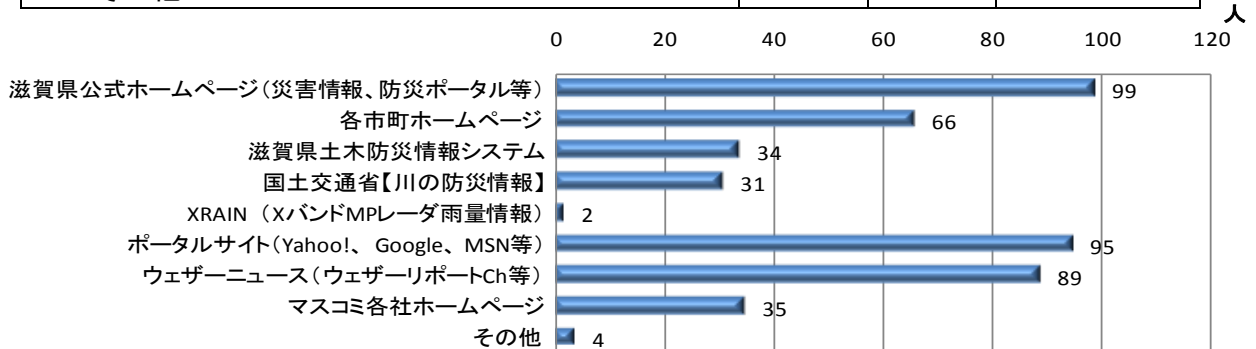
問 17 豪雨災害時の情報取得手段としてよく活用しているものを教えてください。  
 (回答チェックはいくつでも可。n=309)

項 目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2) 調査なし
	人数(人)	割合(%)	
1. テレビ	292	94.5	今回 (H26. 2) で新たに設け た項目です
2. ラジオ	102	33.0	
3. インターネット (ウェブサイト閲覧)	206	66.7	
4. SNS (ツイッター、フェイスブック等)	34	11.0	
5. メール配信サービス (しらしがメール)	119	38.5	
6. 防災無線	46	14.9	
7. 道路沿いなどにある雨量情報表示盤	25	8.1	
8. 特になし	1	0.3	
9. その他	9	2.9	



問 18 問 17 で「インターネット(ウェブサイト閲覧)」と回答された方にお聞きします。  
 よく利用するサイトを教えてください。(回答チェックはいくつでも可 n=206)

項 目	今回 (H26. 2)		前回 (H24. 2) 調査なし
	人数(人)	割合(%)	
1. 滋賀県公式ホームページ (災害情報、防災ポータル等)	99	48.1	今回 (H26. 2) で新たに設け た項目です
2. 各市町ホームページ	66	32.0	
3. 滋賀県土木防災情報システム	34	16.5	
4. 国土交通省【川の防災情報】	31	15.0	
5. XRAIN (XバンドMPレーダ雨量情報)	2	1.0	
6. ポータルサイト (Yahoo!、Google、MSN 等)	95	46.1	
7. ウェザーニュース (ウェザーリポート Ch 等)	89	43.2	
8. マスコミ各社ホームページ	35	17.0	
9. その他	4	1.9	



問 19 水害や土砂災害の被害を少なくするため、個人や地域ではどのようなことに留意する必要があると思いますか。ご意見がありましたらお聞かせください。

(主だった意見)

【個人で留意すること】

- ・ 自宅周辺の危険と思われる箇所を、過去の被害状況も含めチェックする。
- ・ 家の近くを流れている溝や小川の水源も知っておく。
- ・ 災害を風化させずに、自分の身にいつでも起こりうる可能性があるということを念頭において日々の生活を送ることが必要。
- ・ 「災害は他人事ではない」という意識を持ち、そのことを忘れないようにする。
- ・ 予想される最悪の影響がどのようなものか、各個人が認識しておく必要がある。
- ・ 個人が個人の判断でどう避難したらよいか考えておく。
- ・ 自宅や働いている所の近くにある避難場所と、安全な避難経路をあらかじめ把握しておく。
- ・ 日頃から地域の防災訓練などに積極的に参加し、個人の防災意識を高めることが重要。
- ・ いざというときに、隣近所で助け合いができるように、平常時から要援護者の情報を共有する。
- ・ 非常用の食料や医薬品、備品類などを備蓄すること。
- ・ テレビ、インターネットなどでの確に情報を収集するように万全の準備をしておく。
- ・ 雨水貯水タンクを自宅やマンションの屋上に置く。

【地域で留意すること】

- ・ 各地域単位で過去に発生した災害状況やその時の対応、その後にとられた対策等を資料として残し、各家庭に配布することにより日頃から災害に対する関心を持たせる。
- ・ 自分たちの地域は自分たちで守るという意識を持つ。
- ・ 自治会での防災訓練の徹底、消防組織の体制強化などが必要。
- ・ 地域のつながりを強化するイベントなどを実施し、災害の際に最も大事な人的なつながりを構築する取り組みを行う。
- ・ 緊急時における確実な情報伝達、体制の整備が必要。
- ・ 避難訓練は夜間の暗闇を想定するなど、最悪の状況でも対処できるように。
- ・ 町内及び学区等の小単位で防災計画（年間）の立案、検討を行い、具体的に取り組むこと。
- ・ 緊急時、避難する弱者への補助や介助にかけつけることのできるボランティアラインを確立させ、その方法を訓練しておくこと。
- ・ 地域の危険箇所の状況をリアルタイムで収集できるようにする。
- ・ 溝、水路、河川の流れの支障となるべくゴミ類の除去及び清掃に努める。

【その他】

- ・ 「個人や地域」でやることも必要であるが、基本的に河川整備、河川維持管理といった公的対策強化をすべき。
- ・ 水害や土砂災害は土木技術で防ぐことが可能であると考える。
- ・ 主要な河川には監視カメラを設置し、増水の情報をインターネットや防災無線で情報を入手できるように。
- ・ 河川が氾濫する目安となる雨量を橋や川に表示する。

- ・ 水害の危険性のある低地の情報の開示。
- ・ 水害のことを考えず、バリアフリーのみを考え床面が低い自宅を建て、先人の知識を無視してしまった。
- ・ 土砂災害や水害などで危険度の高い地域は、人命優先、リスク低減のため、住居の移設を推進すべき。
- ・ 学校等での防災教育が必要。
- ・ 滋賀県は日本で一番防災に取り組んでいる県になりたい。